

令和5年 第8回全員協議会会議録

令和5年8月9日 議員控室

○事 件

町長報告事項

(1) 新庁舎等建設事業について (総務課)

○出席議員 (14名)

議長 千 葉 隆 君
赤 井 睦 美 君
横 田 喜世志 君
関 口 正 博 君
倉 地 清 子 君
牧 野 仁 君
斎 藤 實 君

副議長 黒 島 竹 満 君
佐 藤 智 子 君
大久保 建 一 君
宮 本 雅 晴 君
三 澤 公 雄 君
安 藤 辰 行 君
能登谷 正 人 君

○欠席議員 (0名)

○出席説明員 (5名)

町長 岩 村 克 詔 君
総務課長 竹 内 友 身 君
庶務交通主幹 吉 田 正 樹 君

副町長 成 田 耕 治 君
財務課長 川 崎 芳 則 君

○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君
庶務係長 菊 地 恵梨花 君

事務局次長 成 田 真 介 君

[開会 午前10時17分]

◎ 開会・議長挨拶

○議長（千葉 隆君） 若干時間が早いんですけども、全員揃っておりますので、これから第8回の全協を開催いたします。挨拶は割愛いたします。

◎ 町長報告事項

○議長（千葉 隆君） 3 町長報告事項に早速入っていきたいと思います。

（1）新庁舎建設事業について、総務課のほうから報告をお願いいたします。

○総務課長（竹内友身君） 議長、総務課長。

○議長（千葉 隆君） 総務課長。

○総務課長（竹内友身君） それでは新庁舎等建設事業についてですが、昨年から検討してきました基本設計でございますが、6月30日に完了ということでしたので、皆様にこの概要について説明させていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 議長、庶務交通主幹。

○議長（千葉 隆君） 庶務交通主幹。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） それではですね、事前に皆様のほうに庁舎等基本設計書の概要版ということでお配りさせていただいておりますが、そちらに基づいて説明をさせていただきます。

基本設計につきましては、議会にその都度報告させていただいておりますことから、中間報告後に変更した点や追加になった事項について説明させていただきたいと思います。

設計書の1ページをご覧くださいと思います。1ページは設計方針とコンセプトになりますが、こちらは基本計画で定めた庁舎建設の基本方針を具現化するための6つのコンセプトを記載しております。

2ページの計画地の概要と3ページの配置計画につきましては、既に報告済みとなっておりますので、説明は割愛させていただきます。

次に4ページをお開きいただきたいと思います。4ページから5ページにかけては平面計画になっておりますが、4月17日開催の全員協議会で一度ご報告しておりますので、今回は修正箇所等について補足で説明させていただきます。まず、4ページ下段が庁舎1階の平面図になっております。前回報告から修正した場所として、右側の公民館エリアにある第1集会室と料理実習室の位置関係を逆にしております。理由としましては、壁の右側が全面ガラス張りになっておりますので、前の案になりますと料理実習室のところに柱が入っていることになるため、視認性を良くするため入れ替えをしております。

次に上段の2階部分に移りまして、水色で表示してあるほうの事務室についてですが、議員数やシステムの配置を踏まえ検証した結果、執務室の広さが不足となることが想定されましたので、事務室右側の吹き抜けに接する部分に打合せテーブルを配置しておりましたが、なくして、窓口カウンターを若干右側に寄せて事務室を広くしております。また、同じく水色で表示している中で、下のほうに休憩室と物品庫がありますが、こちらも収納場所を有効に確保する

ため部屋を入れ替えしております。

次に5ページをご覧くださいと思います。上段が3階の平面図になります。左側が議会関係の部屋になりますが、4名のプロジェクト委員からいろいろとご意見をいただきながら、入り口や傍聴席の関係について修正を行っております。

続いて、大規模災害時の対応範囲について説明しますので、4ページのほうにお戻り願います。平面図上段の左側、灰色の部分にオレンジの文字と矢印で記載されておりますが、こちらは停電発生時に発電機により電源供給することを想定したエリアになります。オレンジの点線で囲んでいる2階の防災拠点室、町長・副町長室、応接室、総務課や建設課等が入る事務室が対象範囲となります。1階は、総合案内や証明書等発行窓口及び避難されてきた要配慮者の受け入れ場所として想定する保健センター、子育て支援センターの各2室が対象範囲となります。

次に、太陽光発電及び蓄電池により電源を供給する避難者受け入れエリアですが、公民館エリアのピンク色の点線で囲んでいる範囲をご覧くださいと思います。1階は第1集会室・料理実習室・トイレ・授乳室が対象範囲となります。2階は、第1会議室から第6会議室までと、トイレが対象範囲となります。前回検討段階の案では3階までを電源供給範囲としていましたが、蓄電池の容量を考え2階までとしてまとめています。この太陽光発電と蓄電池については、概算の電気使用量を推計して決めておりますが、実施設計の中で再度詳細に検討を行い決定していく必要があります。そのため、供給範囲についても今後変動を生じる可能性がありますので、ご理解いただければと思います。

資料の9ページ、10ページに移りまして、電気設備にかかる計画を記載しています。方針としては、快適性と省エネルギーの両立を目指した計画として、記載のとおり実施設計で詳細を検討していくこととしております。特に、停電時の対策として、防災拠点室のほか災害復旧対応部署を中心として電灯やコンセント、空調設備へ72時間の電力供給を行うこととして計画しております。また、議場設備については、議会からの要望を尊重しながら、実施設計において設備の検討を進めていくこととしております。

11ページ、12ページは機械設備にかかる計画を記載しています。方針としては、ゼロカーボンシティーへの貢献及びNearly ZEB基準達成を目指した計画として、記載のとおり進めていくこととしております。13ページ、14ページについては、参考資料となっております。前回説明させていただいておりますので、割愛させていただきます。

続きまして、報告事項(2)の住民説明会及びパブリックコメントの実施結果についてですが、基本設計の作成にあたり住民説明会とパブリックコメントを実施しておりますので、結果を報告させていただきます。

まず、住民説明会の開催状況ですが、6月5日月曜日午後18時から、はぴあ八雲で開催させていただき、46名の参加により実施を行っております。ご意見を様々ないただいておりますが、特に公民館を利用されている方々の意見を直接聴く場面を設けていただきたいということや、将来利用されるであろう中・高生等の若い方の意見をもっと聴くべきとの意見をいただいております。

そのほかに、メンテナンス費用を心配される声や、安くするために必要なものを削るのではなく、勤める職員が快適に仕事ができるように職員の意見を聴きながら進めていただきたいというご意見がありました。パブリックコメントは、6月6日火曜日から6月26日月曜日まで

実施しましたが、出された意見はありませんでした。

続きまして、報告事項（3）今後のスケジュールについて説明いたします。基本設計概要書の15ページをご覧くださいと思います。現在、旧病院建物の解体設計に着手しております。来年度中に解体工事を実施する予定となっております。一部、今年度中に解体予定ということで、令和5年度に赤い印が付いておりますが、こちら八雲警察署の移転予定地にあるダイワ宿舎のほうを先行して解体するというものになっております。これが済み次第、議会に承認をいただいて、道警へ用地を売却する予定で考えております。

新庁舎の実施設計は9月からの業務開始に向け準備を進めているところですが、発注方法を検討した結果、実施設計業務を二本柳慶一・隈研吾設計共同企業体に引き続き依頼することとし、随意契約により進めたいと考えております。理由としましては、当事業者は、公募型プロポーザル方式により今回の基本設計を受託したものであり、建設目的や設計コンセプト等を細部にわたり熟知していることから、実施設計業務についてもその内容を踏襲することができるものと判断し、当該業者を選定しようとするものですので、ご理解いただければと思います。参考としまして、道内の庁舎設計実績を確認しましたところ、ほぼすべての自治体が、一括契約または随意契約により、基本設計を受注した業者に実施設計を委託している状況となっておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

業務期間については、令和6年12月末までの期間を予定していますが、確認申請手続きとありますが、来年の9月末までには検討を終えるよう進めていきたいと考えております。その後、令和7年4月から工事が始まることとなりますが、4月からすぐに着手できるように、令和6年度中に契約を締結するよう予定しておりますので、よろしく願いいたします。

説明につきましては、以上となります。

○議長（千葉 隆君） それでは報告を受けました事項につきまして、一括して皆さんからご意見等を承ってまいりたいと思っておりますが、何かございませんか。

○1番（赤井睦美君） 質問。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） すみません、7個もあるんですが、一個ずつ聞いていってもいいですか。

○議長（千葉 隆君） はい。

○1番（赤井睦美君） 7ページの子育てひろば、エントランスの写真を見ると、それだけ見ると屋根が複雑になっているように見えるんですね、憩いの家の屋根もこっちから雪落ちて、こっちらも雪落ちて雪の溜まるところが結局傷んでいますよね。ああいうふうにならないのかなって、この屋根は大丈夫なのかということと、あと一度お聞きしたかもしれませんが、雪庇が出て、下の人達が危険という可能性はないんでしょうか。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 議長、庶務交通主幹。

○議長（千葉 隆君） 庶務交通主幹。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） こちら住民説明会のときにでも意見として出されてたんですが、設計会社のほうで落雪による木の痛みをなるべく減らすために下のほうに木を使わないようにしているというのが工夫されているところなんですね。

○1番（赤井睦美君） 上は木じゃないの。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 上は木なんですけれども、庇の陰に隠れて直接雪に触れないということのようなんですね。あと雪庇の関係は一応考慮しているところなんですけど、実施設計の中でももう少し詳細に対策を考えていただくというのを今のところなっております。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 屋根のてっぺんに雪が溜まりますよね、そこは木じゃないの。そこは木なんですか。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 議長、庶務交通主幹。

○議長（千葉 隆君） 主幹。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） ベースは鉄骨の建物になっておりまして、表面に木を貼っているということで、見えるところだけに木が付いています。

（何か言う声あり）

○町長（岩村克詔君） 屋根は木じゃないんだって。

○1番（赤井睦美君） そしたらこの写真でなんとなくグレーっぽいところが木じゃないということですね。わかりました。やっぱり町民の皆さん、私も含めてこの屋根の形にすごく驚いていて、このメンテナンスは、一度お聞きしたら塗料がすごく進んでいるから10年持つって町長から説明されたんですけど、この屋根で決めた理由を教えてください。変な話、ほかの屋根の形って私たちは図でしか見てないですから、写真もなく大屋根の図とかの図しか見てなくて想像がつかないので、5つあった中のこの屋根にしようと思った理由を教えてください。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） プロポーザルのときから二本柳さん隈設計事務所さんから、この大屋根のプロポーザルの提案があったということで、多分そんな感じで出て来るんだろうということで、私もはっきり言ってびっくりしました。ところがやはり木を使っていく、これから道南材、特に八雲の木材を使っていくことからいくと、この屋根がいいんだろうということと、やはりいろんな人から安くしたほうがいいとか、いろんな意見がありますが、その中でやっぱりシンボリックな、八雲に合ったという意見も、赤井議員さんからもありましたので、やはりお金ばかり考えないで、やはりこれからの未来を見据えたときに、こういう役場は必要だろうということで我々としては決定したということでご理解いただきたいと思います。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 私はおしゃれな建物と思いましたが、こういう屋根と思っていませんでしたが、この屋根と、それから屋根が出てると壁が傷まないって何かで読んだんですが、この屋根とか壁とか木だと、メンテナンスは何年に1回、どれくらいって予想されていますか。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 議長、庶務交通主幹。

○議長（千葉 隆君） 主幹。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 設計業者のほうからは最初の処理を丁寧にすると10年間はノーメンテナンスで大丈夫と聞いております。費用については、ちょっと施工方法等も含めて資

料提供いただけることとなっておりますが、まだちょっと詳細については詰め切れていない状況ですので、ご理解をいただきたいと思います。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 補足ですね、メンテナンスというのはですね、先程話しているとおり、屋根材は全く違いますので、たとえば自分の家もそうですが、家がちょっとくすんだとか、ちょっと古くなったとか、これはその時その時に、自分の家もそうですが、これお金の予定で今年やったほうがいいなとか5年後やろうとか、そういう程度であって、木というのは意匠で付けているので、構造的にだとか、そういうのには影響がないということでご理解いただきたいと思います。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 町民説明会のときに私は行ってないのでわからないんですけど、建設費が外構も含めて60億から70億ぐらいだというお話があったとお聞きしました。一番知りたいのは町の持ち出し、なんとか債とかいろいろありますよね、その中で大まかに、町の持ち出しは、合併特例債がいくらで過疎債がいくらでって、だいたいどの程度見込んでいるんでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 実際のでしょ。過疎債だとかいろいろあるけれども、実際に町でなんぼ出すんだって。

○総務課長（竹内友身君） 議長、総務課長。

○議長（千葉 隆君） 総務課長。

○総務課長（竹内友身君） 今の予定している額としてはですね、おおまかですが、おおよそ60億から70億です。

○町長（岩村克詔君） それは全体の話。

○総務課長（竹内友身君） そのうちですね、地方債、起債というのが54億くらいです。それでその内訳としては合併特例債なり過疎債なりがありますが、一般財源としては7億5千万円くらいということです。

○町長（岩村克詔君） 違う。そんなもんじゃない。60億で3割かかって18億だ。今の7億5千万で合ってるか。合併特例債だって7：3、過疎債も7：3だし、60億かかったとして18億だから、22～23億くらいが町の持ち出しだと思ってるんだけど。だから大まかでなんぼいっても25億と見ています。持ち出しを20億程度って考えています。それにはもうちょっと搾ったり。

○財務課長（川崎芳則君） 財務課長。

○議長（千葉 隆君） 財務課長。

○財務課長（川崎芳則君） 先程、総務課長から説明したのは、あくまでも事業費に係る起債の借入額をお話をしましたので、あとは町長のほうからも説明がありましたとおり、後ほど元利償還金の交付税措置される部分というのが、合併特例債でいくと7割、防災機能も兼ねていますから、そこは緊急防災事業という起債があります。そちらも7割、交付税措置されます。それで公民館機能もございまして、そちらは過疎債ということで、こちらも7割、交付税措置されますので、残りの3割が持ち出しになります。ちょっと私、実質なんぼなのかは押さえていませんが、大まかなお話はそういうことです。

○議長（千葉 隆君） あとで整理してお知らせください。よろしくお願ひいたします。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 今話を聞くと割と最大でも25億の持ち出しで済むんだなって錯覚を起こすんですが、いろんな建物を建てていて、この庁舎も含めて、償還するときのピーク、一番ピークは何年くらいでだいたいいくらいになるんですか。

○財務課長（川崎芳則君） 財務課長。

○議長（千葉 隆君） 財務課長。

○財務課長（川崎芳則君） 今ですね、新年度、令和6年度の予算関係は、今、主要事業、実施計画を含めて今、取りまとめ中です。昨年の令和5年度以降の実施計画を反映した財政推計は、議員の皆様にも3月版として公表しますが、その数字を用いたかたちになりますので、若干動きはあると思いますが、起債の償還のピークが、今押さえているのは、令和7年度で14億8千万円くらいがピークということで押さえています。若干の動きは出てくると思いますが、大まかな部分では。

（何か言う声あり）

○財務課長（川崎芳則君） ただ、補足すると、その実施計画も、たとえば去年で言うと、5年6年7年度の部分が実際に実施計画に載ってくるんですが、それ以降の部分が担当課で把握できない部分がありますので、実際にその額はもうちょっと増えるだろうと思いますが、その辺もちょっと、うちのほうでは押さえ切れておりませんので、実際の今の段階では令和7年度がピークになると考えております。先ほども申し上げましたとおり、うちのほうは極力、元利償還金の負担が財政条件に影響を与えないように、交付税措置される有利な起債を第一に考えて財政運営してもらったと思いますので、その辺はご理解いただきたいと思います。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 常にそういうふうにより毎日毎日調べて少しでも安くって努力されていることはよくわかります。ありがとうございます。でも人口が減ると収入も減るし、今これから頑張ると思いますが、ふるさと納税も減額されているし、そうすると14億8千万をピークに返していくとなると、人口減ったからって道路直さなくていいとか、除雪しなくてもいいとかってそういうことなく、減ってもかかるお金は同じですよ、そういう意味で本当に子ども達に負の遺産とならないのって、そこが一番町民は不安なんです、そこは絶対ということはないけれども、大丈夫ですって感じですかね、町長。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 私もですね、この経営的なことはだいたい見えています。確かにですね、我々お金がですね、いくらあったら安心かと言ったら、各個人的にでも家々でも違うし、町でも1千億あったら大丈夫だとか500億なら大丈夫だとかそんなこともないし、ただ我々としては今、財政とやっているのは、7：3であろうと6：4であろうと、持ってるお金を今使ったほうが借金を減らす、その方法も考えながら、今言ったピークをあまり後半に持っていけないようにと思っています。それと今人口が減りますけど、確かに所得税は減りますが、今、八雲町の税金は増えています。何で増えてるかという、前にも言ったとおり、太陽光発電の税金

が入って来る、これからどここの工場にこれも入ってきます、そっちのほうが結構大きくて法人税も結構入ってきていますので、そういう部分でいくと私は税収はそんなに下がらないだろうと、ただし一人当たりの交付税措置がありますので、こっちのほうが税金より交付税措置が下がってくるだろうと思っています。私はその税収より交付税措置のほうが下がるだろうと。いかに人を減らさないように、この交付税についてはですね、住民票がなくても実質ここにいるということですので、新幹線の開業まではある程度、宿舎にいる人もカウントされますので、さらにこれから外国人もカウントされると聞いていますので、その辺はこれからの中長期的な財政を見ながら、私は子ども達に負担のないように考えて計画したいと思っています。ただし120億以上ある基金が、貯金が、極端の話、60億程度に下がっても借金はあまり増やさないほうがいだろうと、そういう考え方で進んでいくということをご理解いただきたいと思います。

○1番(赤井睦美君) はい。

○議長(千葉 隆君) 赤井さん。

○1番(赤井睦美君) はじめて議員になったとき、60億減らすって言ってたけれども60億もなかったから、だからそういうのを考えるとやっていけるのかなと思うけれども、先程、中高生の意見も聞いてと町民からありましたけど、やっぱり中高生が今後払っていく人たちになるから、意見聞くというより、彼らに本当に負担として残さないでほしいとすごく思います。

最後なんですけど、議会も報告会やったときに、庁舎に対してね、議会が賛成したんだから、この庁舎の詳しい説明は議会から聞きなさいって言われたって町民の声があつて、私1回も反対も言っていませんが賛成とも言ったことないんですね、これ先ほどおっしゃっていましたが、1回、全協で報告ありました。全協は決めるところではないから、いつ議会で決まったんだらうって、誰が賛成して賛成となったのか不思議だったんですけど、この決定はどこで決まってそういうことになったのでしょうか。

○町長(岩村克詔君) はい。

○議長(千葉 隆君) 町長。

○町長(岩村克詔君) 一応、全員協議会で決定をしていると思います。それと当初ですね、庁舎建設の特別委員会がありました。その委員会の中の意見を尊重しながら計画設計を進めてきました。それもその都度ですね、全員協議会で説明しながら進めてきましたので、やはり議会の皆さんに理解を得たということで我々は、承認というわけではありませんが理解を得たということで進めているということでもあります。

先ほど言ったとおり、私もちょっと熱くなって話をしましたので失言でありましたけど、多分、自分も議員をやっていましたが、議員が自分もそうありますが、自分の後援者、支持者も含めて議会でこういうことがありましたというのを説明しながら、それも議員一人ひとりがやはり町民の代表として意見を持って来るといのが議員の仕事だと思ったときに、やはり個々の意見もありますが、議員の皆さんの意見が町民全体の意見ではないかなと、そんな思いもしながら、これは決定して進んでいるということをご理解いただきたいと思います。

○1番(赤井睦美君) はい。

○議長(千葉 隆君) 赤井さん。

○1番(赤井睦美君) 私は別にこれ大反対とか今から変えろとかそういう思いは全くないんですけど、私の中では全協は決定する場所ではないと思っていたんですね、だから万が一これからここ

で反対がないからいいですねとなるんだったら、最後に確認してほしいと思います。庁舎に関わらず、今後進めるときに、反対がないから、じゃあ皆さん納得しましたねって、私は反対と言わなくても納得したかどうかとは別だと思えますね。だからそういう捉え方の違いというのが町民にとって迷惑かけたら困るので、だから私は今日7つ質問させていただいたのは、何で賛成したんだって、賛成した理由を言えといったときに説明できないから、じゃあ今日はこれを聞いてちゃんと説明しようと思って質問させていただいたんですけど、今後やっぱり、ここで皆さん納得してくれましたねというのを最後にやってほしいなと要望して終わります。

○議長（千葉 隆君） 全協は本会議の前の政策提案されたときの調整の場であって、最終決定の場ではないので、あくまでも本会議で最終決定すると。それで今回の経費の場合は、基本設計で賛成していますので、その基本設計に関しては賛成の議員さんのほうが多いということでの理解はしています。今後また実施設計の予算が出てくると思えますので、そのときに賛否を本会議場とするというのが手続きなので、おおむねそうはいつでも通常、全協でほとんど何もないということ意見も出なかった、そして本会議場でも賛成となると、通常は賛成ということで行政上の手続きは進んでいるというかたちになる。

ただその辺が個々の議員さんの中で賛成の方もいれば反対の方もいますので、議会全体では可決したけれども、反対の意見の議員さんもいたということで、それぞれ報告されればいいのかと思いますので、その辺は共通理解になるのかなと思います。

実施設計も6月の補正で可決していますので、それで今、実施設計の業者の部分については随意契約でしますということで主幹のほうからお話が合ったように、その契約の内容も、契約もほかの事例によれば基本設計と実施設計が一括してやっている事例と、基本設計をした業者が引き続き実施設計をするというか、その随意契約をするためには理由が必要なので、それは基本設計の部分の方針だとか内容を熟知しているから、そのまま基本設計の事業者が実施設計の事業者に移行して随意契約やりたいという説明を受けたので、そのことについて異議があるのであればこの場でお話しただければいいと思いますし、そういうことも含めて報告してと思うので。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 異議はないんですけども、ただ議会報告会のときに、さっきおっしゃって下さったように、確定ではなくても町の持ち出しがほしいこれくらいなんだってそういう数字も出してけると、町民の中では、うちの町内会の話ですが、隈研吾さんが設計したというだけで莫大な設計費用が取られるだろうみたいな、そんな感覚が皆さんの中にあるので、そういう感覚が、私は数字を見ているから、そうではないと言えますが、そういう感覚が多いので、何でそんなところにお金をかけるんだって、うちの町内会はそういうのがすごく多かったです、そのときにこういうことを報告会でも持ち出しこれくらいで、それでピークはいつくらいでこれくらいで返していけば将来性は安心できるということが、今後いろんなやり方で、庁舎が一番大きい事業だと思いますが、これからも皆は将来のことを心配しているので、そういう内容を話しながら安心してもらえる、何やっても反対する人は反対するので、未だにあの場所がおかしいと言っている人もいるから、それは仕方ないけれども、反対してるけれども、わかったといってもらえるようなそういう手続きというか、詳しい説明を今後して欲しいと思います。以上です。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○11 番（斎藤 實君） はい。

○議長（千葉 隆君） 斎藤さん。

○11 番（斎藤 實君） 今の関連する発言なんですけれども、町長が、議会も決めたんだから議員も説明責任あるんだということで言われましてですね、ちょっと待てよと、町長言ったんだからって確認したんです。そしたら町長間違いなく言ったって。それで我々が今どこまで責任持てばいいのかということなんだけれども、これは実施設計6月でもって入ってるわけですね、基本設計が終わって。そして最終的にどれくらいの金額になるのか、そしたら最終的に持ち出しがどれくらいになるのか、いろいろ我々も頭の中で、やはり過疎債使っても、合併特例債使っても7割くらいの財源は付くよと、皆さんわかってるわけだから。だいたい端的に言ったら説明できるけれども、実質的には金額は確定していないわけですね、そこまで。だから僕らも説明のしようというのが、そこはできない部分もあるんです。ということは実施設計の、これから発注して、やって完成が最後に出ていますが、そこまで行かないと本格的なことはわからないわけでしょ。金額的なことも、改めて。だからそういう部分というのは、町長が説明できないものも議員だって、こういう協議会でいろいろ議論したことだけは説明できても、それが確定ですということは言えないわけだから。その点について非常に僕らも疑念を感じたんです。

これやっぱり岩村町長の姿勢として今、議員の皆さんの意見も聞きますと言いながらも、これまでひっくり返っていることもあるわけですよ。そういう点についても町民の中でも、議員も軽んじられるというのかな、そういう部分もやっぱり町民の中にもあるということだけを、町長も責任を一端感じてほしいと思うんですね、やはり町長の一言で、町の大將ですから、きちんとそういう部分が数字的に説明しながらいかないと、町政全般に信頼得られなくなると思いますよ。その点についてだけ、やはり町長も襟を正して、これからの姿勢の中で進めてほしいという思いであります。特に町民の皆さんには議会報告会でどこまで説明すればいいのって、最後は口つぐんでしまいました。以上です。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 本当に私も反省しきりでありますので、これからも斎藤議員おっしゃっているとおり、襟を正しながら、説明しながら進めたいと思います。

ただ、私は子ども達に負の財産を残さないというのはもちろんのこと、しっかりやっていきたいと思っています。さらに隈研吾さんの設計についても、八雲町としてもシンボリックなものになるだろうと思っていますので、その辺も含めてしっかりと説明しながらやっていきたいと思っていますし、費用についても、私も結構、設計業者さんにも、今60億と言っていますが、50億でやれとかって強く指示を出しながら、そういつてもなかなか増えてくるというのが、建築関係の方々にはよくご存知だと思いますが、昔、我々若いころ坪50万という住宅だとすごい建物が、今、坪100万円でも業者が喜ばないと、この頃住民からも聞いていますので、建築コストは本当に上がっているなど実感しています。しかしながら先ほど言ったとおり、町民に説明しながら襟を正して、負の財産を残さないように、しっかりとやってまいりたいと思いますので、これからもどうぞよろしく願いいたします。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○7 番（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地さん。

○7番（倉地清子君） 60億から70億って、6千円から7千円って幅じゃなくて、10億の幅があるから、この資材高騰とか、それを見込んでそれだけの幅になっているのか、すごく10億の幅ってすごく大きすぎるなと思うので、そこをわかりやすく。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） これですね、本当に我々もつかめない。我々というか設計屋さんもつかめないというのが現状なんです。皆さんご存知のとおり、北海道の中で最大規模の次世代の半導体が千歳にできるということもあり、資材等々がどれだけ高騰するのかということと、これから建築するときの、人が集まるのかだとか、いろんな状況が日々変化しているということと、それと経済的にいうと円安がこんなに続いて多分、牧野さんはかなり敏感に作業していると思いますが、その辺もこれから輸入するものが高騰してくる。人件費も上がってくるというので、大変私たちも、これ設計屋さんに倉地議員さんと同じように我々も詰めています。少し幅があるということでご理解いただきたいと思います。ただし実施設計の中ではしっかりと予算決めていきたいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。

○7番（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地さん。

○7番（倉地清子君） 先ほど起債償還のピークの、令和7年度に14億8千万くらい見込んでるって話しあったんですが、それはこれ以上は、この60億から70億の幅の中で増減はこれも考えられるってことでいいですか。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 実際の話は本当にどうなるかわかっていません。あまり費用がかかるなら下手したら延ばすということも想定しなければならないのかなど。これは想定外ということが今まであまり起きなかった世の中ですが、想定外なことが起きるということも想定しています。そうすると基本設計料や実施設計料も損するということですので、そういうことがないように、下手したら今、人口も本当に減っていますし、面積も少し減らすくらいのそんな状況も見ながら実施設計を進めたいと思っていますので、なるべくですね、60億70億ならないで、なんとか以下に収まるように頑張りたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

○11番（斎藤 實君） はい。

○議長（千葉 隆君） 斎藤さん。

○11番（斎藤 實君） ただ僕らがこれまで全協で聞いて数字的なものは48億2、3千万で、それを圧縮したいというところまでは僕は数字を聞いてるんですね、これは皆さん共通だと思います。それ以降の60億70億というのが、なぜ、高騰しているからどうだとかっていうんだったら、それ町民の前に議会に、協議会において50億弱のものを圧縮したいと言っておきながら、町民の前でぼんって金額出たら、何が本当の数字なのか、どこに本体計画のベースの金額があるのか、その部分が説明できないんですよ。だからその辺のところもきちんと48億何千万をもう少し圧縮したいというなら、それを基本にして、さらに将来的な外構工事はまだかかるよという部分は我々も理解

はできるから、そこのところだけはきちんと説明してやらないと、どこに本体のベースがあるのかわからなくなっちゃうんですね。その点だけ、今後の調整を進める中でお願いします。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 確かにですね、斎藤議員さんがおっしゃっているとおり、建築の本体工事はそれなんです。ただし今言った、町民から、たまたま全体で解体や外構だとかいろんなもので全部でなんぼかかるんだということで説明しちゃったのは大変申し訳なかったと反省していますので、これから全員協議会の中でも、全体の事業費を60億70億というのはそういうことです。町民の中でそれを理解してくれたかどうかというのは、建物だけ言っておけばよかったと反省していますので、これから進めるときは、町民に説明するとき、あまりそこまで説明しないようにいこうということで考えていますので、よろしく願いいたします。

○議長（千葉 隆君） もう一度整理ますと、町民説明会の部分は全協でやった1か月後なんです。その時は49億くらいで、そのときにも外構も含めてと言っているのです。

○町長（岩村克詔君） 庁舎の外構の話。

○議長（千葉 隆君） だからそういうことで外構でも全体の外構もあるし庁舎の外構もあるしということもあるので、だから今、おおむね今現在、この庁舎の外構というか、駐車場も含めてこれくらいになっていますというものの内訳を、今現在のおおむねの金額を出してほしいということと、もう一つは、さっきお願いした財源、どういう起債を使ってどれくらい一般財源使うかということ、これは設計の変更もあるし、資材の高騰もあるから、これからの変動は別にしても、変動があるということ、これを共通理解のもとに、おおむね今どうだということだけをあとで整理したものを出していただければ、うちのほうも説明しやすいということですので、お願いしたいなということで、その辺は皆さんよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 議長さんおっしゃってとおりですね、その辺我々も説明不足だなということでもありますので、今議長さんからそういう話がありましたので、早急に、これ全員協議会でいいのか、資料が揃ったら各議員に送ったほうがいいんですか。

○議長（千葉 隆君） 資料があれば事務局に。

○町長（岩村克詔君） ただ我々がいつも議会に説明するのに、いつも不安に思っているのは、安く言ってしまうと、あとから上がったときに何で上がったって言われるからみんなビビっちゃって、なるべく多めに言うように思っていますが、今回出す数字は我々が今捉えている数字ということで、先ほど言ったとおり、物価の高騰等は見えていないということでご理解いただきたいと思います。だから今出す数字は我々がおおむね捉えている数字ということでお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 今、斎藤議員さんのほうからもお話があったように、そのあと町のほうで住民説明会やったんだけど、議会のほうも議会報告会やって、結構、町長さんの発言を議員が責任を持つということで結構出た部分もあるから、そういったことを今、庁舎の関係も含めて、今、議会報告会でまとめたものを精査してるんです。それで、庁舎の関係もありま

すし、そうでない部分もあるので、あとで委員会を通じて要望みたいなかたちで出していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○町長（岩村克詔君） はい。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 私が言いたいことは千葉議長が言いたい言ってくださったんですけども、これまでの資料というのは試算の額が言いたい出ていたと思うんですけども、この間の住民説明会も今回のこれも金額的な資料が載っていないというところが納得できないというところでありまして、今、千葉議長が言ったように解体費もいくらで、補助金がいくらで、全体の外構も含めていくらだっただけでわかるように、私たちに示してほしいですし、あとこの間住民説明会ありましたけれども、あれっきりなのかというのが住民の思いの中にあると思うんですね、それで実施設計ができた時点になるのかもしれませんが、あと1、2回は住民説明会が必要だと思いますし、その住民説明会に対して、金額的なものも示した資料も当然つけるべきだと思うので、その辺のお考えをお伺いします。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 確かにですね、数字的なものは大変我々としてもはっきりは実施設計でないと出てこないということが実際なんです。ただこの金額というのはこれから入札やいろんなものに絡んできますので、どの辺までお知らせすればいいか、大変苦労すると思っています。我々が捉えている数字はあくまでも概算の数字でありますので、先ほど言ったとおり、上下しちゃうと何で最初のお金と違うんだとか、また高く出して安くなってもなんでこんなに違うんだってなってくるのが我々も大変不安だということもご理解いただいて、これから今議員さんに渡す数字というのはある程度私たちが捉えている数字であります、住民説明会とかについては、おおむねの数字ということでご理解いただければ助かりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） あと住民説明会はやるんですかって。住民の中にも決まってないことを説明されても困るといふ人もいれば、決まったあとに説明されても困るといふのも議会報告会でもそうなんだわ。だからその辺もやるタイミングとかどういうふうに町民の声を吸い上げるかといふのは大変苦労すると思うんだけど、やるかやらないかは今判断できないのであれば検討するということでも。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 本当にですね、このパブリックコメントについてもですね、意見が一個も出てきていませんで、その辺も町民の意見を聞き入れる場所であります。ただ先ほどいろんな町民もいますので、議長さんからアドバイスもいただきましたので、やるかやらないかについても内部的に検討いたしますので、よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） あと町民の意見という話であれば、国保病院も実際、設計どういふようになるんだというのが、住民の人達が良くわからないと。熊石の国保病院。賛成反対でいる

いろ町民と対話したんだけど、実際にどういう病院になるのかというのが基本設計の部分でもよくわからないから、そういうのは説明してほしいというのは言っていたので。

○4番（大久保建一君） それはあとでまとめていきますから。

○議長（千葉 隆君） そういう関係もちょっとまた議会のほうでも、もう一回整理していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○4番（大久保建一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保さん。

○4番（大久保建一君） さっきの町民説明会に絡んでなんですけれども、ある程度決まってしまうと別にもうやる必要もないかなって思うところもあるんですが、ただ議会報告会の中でやってみると、あまりにも誤解が多い。町民って誤解していることがすごく多くて、たとえば町長と隈研吾が仲良くなったから頼んだんじゃないかだとか、隈研吾だからこそすごく高いんじゃないかだとか、このデザインにしたから、あまりにも華美なものが付いたからすごく高くなったんじゃないかだとか、中にはこんなで買物を木材で建てるのかという人もいるし、あまりにも誤解が多いので、たとえばパブコメが来てないからいいということではなくて、あくまでも説明する義務はあると思うので、なるべく多く知ってもらう努力は続けていかなければならないと思います。たとえば簡単なQ&Aでもいいから、もっと知らせる努力というのはこれからもしたほうがいいし、議会説明会、俺たちのB班なんかでいったら、ちゃんと説明したらわかってくれる人達も多いので、その辺は誤解を解くためにちゃんとした説明というか、文書なりなんなりを出していったほうが進めやすくなるんじゃないかなと思うので、そこら辺はやっていただきたいと思います。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 国保病院については説明が住民説明はしていないというのは確かでありまして、この国保病院の進める方についても担当の国保病院の事務長並びにですね、確認しながら実施設計で進んでいる段階であります、どんな方法で町民に示すかというのはする必要あるんだろうと理解いたしましたので、検討したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 大久保さんのやつは、いずれ議会の議運で今整理していますので、あとでそちらのほうで対応していただきたいと思います。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） いくつか細かいことも聞きたかったんだけど、今、大久保さんが言わんとしたことは、僕も違う班で住民説明会やったり、そのほかにも住民の声を聞いて思ったんですけど、6月5日の町民説明会がスタート時点として失敗だったという認識を持ったほうがいいんじゃないかなって。庁舎の設計プロポーザルの向こうに投げかけたテーマで町民が集う憩いの場を目指すという、このことにも設計思想を知れてくださいって入っていたということは僕ら町民にも説明したんだけど、決定的に町民説明会するとき6月5日のときに46名の町民が受け止めたものの中で欠けていたのが、今まで事務的なことをして目的があっていった役場が新しい庁舎は目的がなく集う憩いの場だって、生まれ変わるって新しい設

計思想が入っている建物だけれども、それが決定的に伝わっていないんですね、あの説明会の中では。

だから大久保さんがくだらないって表現をした部分があるんだけど、それは根本的な伝わっている前提で質問を受けたいんだけど、その考え方が伝わっていないから。だから何が言いたいかというのは、これからもし住民に説明会するときには、新しい役場を作る以上、今から私たちも変わりますって。目的がない人でも、役場に行ってみようかなと思う雰囲気を持っている役場だとか、仏頂面で挨拶もしないとかってイメージは持たれているみたいなんです。そんなことない一人ひとりの職員は本当に丁寧に答えてくれるし、そういったいわゆるマイナスなイメージの払しょくをスタートさせる新庁舎だってイメージでの説明会をやらせてもらえたらいいなと。6月5日はその部分が決定的にボタンの掛け違いだったり、受け止め方の違いがあったので、それを引き継いだ僕らも議会報告会でいろいろ言われたので、ぼくもそういう発信をしていきたいと思います。

それでは質問に移りますが、図面の説明の中で災害時の防災拠点エリアはいくつか区分けしていましたが、福祉エリアのほうが子育て支援、発達支援のエリアのところでも、災害時の防災拠点エリアって括っているところは、トイレが入っていないんですね、だからこっち側に行った住民だとか、なにか特別な診察とかが必要で分けられた子ども達なんかが、近くにトイレがないのは不便じゃないかと思うんですけども、ほかのエリアはトイレが使えるようになっているので、そのところの配慮はどうなっているのかなということをお聞きします。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 議長、庶務交通主幹。

○議長（千葉 隆君） 庶務交通主幹。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 申し訳ありません。当然トイレも使いますので、この範囲も考えていただいて。

○8番（三澤公雄君） 大丈夫なの。それともう一つ、木は意匠として使っているので構造材ではないって町長の説明がありました。たとえば7ページの大屋根の見えるところ、この大屋根を支えるかのように、地面に対して垂直方向に三角形が入っていますよね、これも鉄骨を隠すように木は貼ってるんですか。僕のイメージとしては直行材や新しい木材のそういうものを使って、これは少なからず構造的な支えになってるんじゃないかってイメージしてたんですが。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 三澤議員さんがおっしゃっているですね、CLTという材料を使ったほうがいいんだろうということではありますが、メンテナンスだとか、これの部分でいくと鉄骨を入れたほうが、意匠で付けたほうがということで計画をしている。ただ言ったとおり、かなり高いんですよ。先ほど言ったCLTという工法があるんですが、難しいということで、あくまでもこの木材については意匠ということで考えてほしいと思います。

○8番（三澤公雄君） そういう説明で変えておきます。

○町長（岩村克詔君） それと三澤議員の最初の質問で、確かに私ちょっと説明不足だというのは反省しています。なぜ私も結構話はするんですけども、反省はするほうで、帰ってからいろいろ考えて、やはり自分とすれば町民説明も各町内会でやりながら、かなり丁寧に説明し

ながら進めて行ったという認識はすごく持っていたんですが、結局はコロナというちょうど過渡期でその辺で我々は進んでいたんですが、町民は止まっていたんじゃないかって、これは凄く反省していて、本来であればコロナがなければ町内会の新年会やいろんなところでこういう説明をしてたんです、今まででもずっと。そうすると新年会の説明とかしていったもので、だいたい町民の理解を得ながら質問を受けながら説明してたという認識があったので、コロナの影響もあったのかなって反省していますので、この辺我々としても丁寧に説明しようということで新たに思いましたし、さらに集う役場は元々あったので、その辺もしっかり説明しながら進めたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） 説明責任というのは僕たち政治家には課せられたものだから、今、町長そういうふうを受け止めてもらっていて、嬉しいなと思います。特に現場では事務方が丁寧に説明してるんだけど、質問に入ったときは町民、それ抜けて質問されてるんだよね、だからちょっと違う表現を大久保さんがしたけれども、説明をちゃんと聞かないでの質問だとか、素晴らしいデザインというか派手なデザインのイメージからきた質問で、前段で説明しているところが受け止められてなかった。僕らも議会報告会ではプロポーザルにおける予算の上限の話なんかもしました。そのときにこれから入札もあるので詳しい説明はできませんって僕ら言ったんだけど、今、全協で随契するって言ったでしょ。そしたら、随契というんだからこっちはこれくらいの予算を考えてるので、これからの実施設計の部分も、隈研吾さんのデザインによって価格は上がらないよっていうことを、極端に上がらないということがもし言えるなら行ってもらえたほうが僕ら説明しやすい。

○議長（千葉 隆君） 6月に予算通ってるんだから、実施設計。その範囲内で随意契約やってるから。

○8番（三澤公雄君） だから基本設計案の中の、あれは基本設計の案の金額だけれども、受け止め方として、決して高額な、隈研吾さんのデザインが高額じゃないというのは、ほぼ見込みではなくて、ほぼそれははっきりしてるっていう考え方でいいんですね。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 結局、隈研吾さんが取るとか取らないとか関係なく、実施設計の金額を予算化して、その提示したわけだから、承認もらいましたので、もちろん実施設計の入札というか随契にしても、それ以外です、もちろん。

○8番（三澤公雄君） であれば町民に説明する場面を作るのであれば、そういった誤解に基づく、広くそれが来なかった人達にもこういう話のほう浸透しやすいので、誤解が誤解を生んでいると思われて、はっきりと言葉に出されて説明されたほうがいいのか。シンボリックなものを作るのはとても素敵なことだと思うので、これが素敵な結果を招くためには今どういう説明をして理解してもらおうかが大事だと思います。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番(赤井睦美君) 私は説明会を開いても来る人が限られてるし、全町くまなく歩いてもやっぱり来る人は限られてくると思うので、さっき大久保さんがおっしゃったように、Q&Aで広報なりホームページなりに載せたほうが、皆の目に映るし、わかりやすいかなと思います。

○町長(岩村克詔君) 良い意見だと思います。確かに我々も説明会をやると、ある程度決まった人が来るというのは赤井議員さんがおっしゃっているとおり、我々も少し理解していますので、やはり今言ったQ&Aみたいなのを検討をしてみたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○議長(千葉 隆君) ほかに。

○7番(倉地清子君) はい。

○議長(千葉 隆君) 倉地さん。

○7番(倉地清子君) 公民館にある保護司会のお部屋の質問があったと思うんですけども、それは平面図面の中で対応するということですかね。

○総務課長(竹内友身君) 議長、総務課長。

○議長(千葉 隆君) 総務課長。

○総務課長(竹内友身君) 保護司の活動をする部分は今、公民館でやっていますが、それは新庁舎には行ってないです。それについては、使うのであれば別な施設を利用させていただくことになります。

○8番(三澤公雄君) 部屋は確保するのは違えないんですね。

○総務課長(竹内友身君) はい。この中には確保しません。

○議長(千葉 隆君) ほかに。なければですね、一点だけ。町の説明会もそうなんだけれども、議会報告会も受けて、一番感じたのはやっぱりコロナ禍であったというのが一つあるんですね。というのはやっぱり40億あるいは60億70億かける予算で、ある程度基本設計の段階で住民説明会やるっていうのが今までの八雲町の手法だったんだけど、やっぱりある程度、町民に、1年なり2年前にワークショップやって、どんな役場を町民が望みますかってことを、ある程度やってこなかった部分も含めて、やっぱりいろいろな意見が出てきたと思うので、たとえば森町も道の駅作る時にワークショップやってなんかやってるだとか、結構発信してるものだから、何で八雲町はやっていないんだっていうようなイメージというか、自分たちの意見が聞き入れてもらってないというのが根底に少し感じられるような気がしてるんですね。やっぱりある程度60億70億とか大きな建物をやるときには、ある程度コンセプトも含めて、こういう町民の意見があったからこういうコンセプトにしましただとか、さっき町長が赤井さんの意見も取り入れてやりましたってアリバイになる訳ではないけれども、そういうことの機会を作るべきだったなって、深く、それが行政側だけの、あるいは理事者側だけの反省ではなくて、議会もそういうことを提言してこなかったのも、ある程度、今後大きいプロジェクトやるときには、そういうことも必要ではないかということで、我々も勉強したいし、勉強して検討したいと思っていますので、理事者側もそういった考え方も一つ持つべきだと思いますので、お願いとして聞いてください。

ほかになければこれについてはこれで終わりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。あとなければ、ありがとうございました。

◎ その他

○議長（千葉 隆君） それでは議会事務局のほうから。

○議会事務局長（三澤 聡君） それではみなさんが集まる機会になりましたので、8月1日付けでの人事異動がありましたので、それから会計年度任用職員の採用がありましたので、皆さんに紹介したいと思います。自己紹介させますので、お願いします。

（異動・採用職員挨拶）

○議長（千葉 隆君） あと皆さんのほうからなければ、これで全協は終わりたいと思いますがよろしいですか。ご苦勞様でした。

〔閉会 午前11時31分〕